

# 2017年度 収支決算

## 財務諸表

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

1. 貸借対照表
2. 正味財産増減計算書
3. 財産目録
4. 財務諸表に対する注記
5. 収支計算書

一般社団法人 九州経済連合会

# 1. 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	93,315,098	83,744,518	9,570,580
立替金	894,271	1,048,490	△ 154,219
未収金	966,617	70,481	896,136
流動資産合計	95,175,986	84,863,489	10,312,497
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当預金	142,295,000	131,222,000	11,073,000
運営準備引当預金	72,500,000	72,500,000	0
周年事業引当預金	11,000,000	9,000,000	2,000,000
減価償却引当預金	7,282,129	6,520,829	761,300
特定資産合計	233,077,129	219,242,829	13,834,300
(3) その他の固定資産			
備品什器	6,851,691	7,612,991	△ 761,300
入居保証金	10,306,728	10,306,728	0
その他の固定資産合計	17,158,419	17,919,719	△ 761,300
固定資産合計	250,235,548	237,162,548	13,073,000
資産合計	345,411,534	322,026,037	23,385,497
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	3,087,916	492,845	2,595,071
預り金	1,401,140	2,239,008	△ 837,868
前受金	0	150,000	
流動負債合計	4,489,056	2,881,853	1,607,203
2. 固定負債			
退職給付引当金	142,295,000	131,222,000	11,073,000
固定負債合計	142,295,000	131,222,000	11,073,000
負債合計	146,784,056	134,103,853	12,680,203
<b>III. 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	198,627,478	187,922,184	10,705,294
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	(90,782,129)	(88,020,829)	(2,761,300)
正味財産合計	198,627,478	187,922,184	10,705,294
負債及び正味財産合計	345,411,534	322,026,037	23,385,497

## 2. 正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①特定資産運用益			
特定資産受取利息	333,395	1,992,560	△ 1,659,165
②受取入会金			
受取入会金	1,450,000	950,000	500,000
③受取会費			
受取会費	295,012,500	295,425,000	△ 412,500
④雑収益			
雑収益	1,444,037	1,371,467	72,570
経常収益計	298,239,932	299,739,027	△ 1,499,095
(2) 経常費用			
①事業費			
給料手当	95,292,249	95,253,528	38,721
総会役員会費	6,294,682	6,122,512	172,170
会員懇談会費	4,560,063	5,887,416	△ 1,327,353
委員会費	40,873,148	39,938,886	934,262
調査費	5,761,881	6,077,971	△ 316,090
刊行費	11,319,798	10,822,416	497,382
旅費交通費	9,464,901	10,571,290	△ 1,106,389
通信費	2,261,045	2,092,975	168,070
図書資料費	484,261	545,316	△ 61,055
加盟団体費	2,082,600	2,082,600	0
特別事業費	0	2,129,939	△ 2,129,939
研修費	546,734	434,087	112,647
交際費	567,796	515,530	52,266
印刷費	4,100,085	4,135,509	△ 35,424
消耗品費	216,865	219,296	△ 2,431
諸税	215,255	532,251	△ 316,996
雑費	7,760	15,108	△ 7,348
②管理費			
役員報酬	22,015,000	22,015,000	0
退職給付費	864,000	23,348,000	△ 22,484,000
福利厚生費	22,843,186	22,400,620	442,566
家賃	35,097,604	34,956,024	141,580
備品費	9,811,487	9,794,651	16,836
修繕費	1,019,938	1,164,287	△ 144,349
減価償却費	761,300	1,112,545	△ 351,245
経常費用計	276,461,638	302,167,757	△ 25,706,119
当期経常増減額	21,778,294	△ 2,428,730	24,207,024

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金取崩	864,000	23,348,000	△ 22,484,000
経常外収益計	864,000	23,348,000	△ 22,484,000
(2) 経常外費用			
退職給付引当金繰入	11,937,000	11,797,816	139,184
経常外費用計	11,937,000	11,797,816	139,184
当期経常外増減額	△ 11,073,000	11,550,184	△ 22,623,184
当期一般正味財産増減額	10,705,294	9,121,454	1,583,840
一般正味財産期首残高	187,922,184	178,800,730	9,121,454
一般正味財産期末残高	198,627,478	187,922,184	10,705,294
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	198,627,478	187,922,184	10,705,294

### 3. 財 産 目 録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

	金		額
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金			
現金手許有高	405,559		
当座預金			
福岡銀行本店営業部他	72,839,932		
普通預金			
宮崎銀行福岡支店他	20,069,607		
立替金			
第70回九州経済懇談会負担費用他	894,271		
未収金			
平成29年分年末調整還付金	966,617		
流動資産合計		95,175,986	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0		
(2) 特定資産			
退職給付引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	142,295,000		
運営準備引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	72,500,000		
周年事業引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金	11,000,000		
減価償却引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金	7,282,129		
特定資産合計	233,077,129		
(3) その他固定資産			
備品什器			
応接室内内装工事、LAN設備他	6,851,691		
入居保証金			
電気ビル共創館入居保証金	10,306,728		
その他固定資産合計	17,158,419		
固定資産合計		250,235,548	
資産合計			345,411,534
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
3月分社会保険料納付分他	3,087,916		
預り金			
3月分給与における源泉住民税他	1,401,140		
流動負債合計		4,489,056	
2. 固定負債			
退職給付引当金	142,295,000		
固定負債合計		142,295,000	
負債合計			146,784,056
正味財産合計			198,627,478

## 4. 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券は、償却原価法(定額法)を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
固定資産(備品什器)は、定額法による減価償却を実施している。
- (3) 引当金の計上基準  
引当金の計上基準については、それぞれ以下の金額を計上している。  
・退職給付引当金……役員並びに職員の期末自己都合要支給額の100%
- (4) リース取引の処理方法  
・ファイナンス・リース取引  
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (5) 消費税等の会計処理  
消費税は税込み処理を選択している。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金積立金	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当預金	131,222,000	11,937,000	864,000	142,295,000
運営準備引当預金	72,500,000	0	0	72,500,000
周年事業引当預金	9,000,000	2,000,000	0	11,000,000
減価償却引当預金	6,520,829	761,300	0	7,282,129
小 計	219,242,829	14,698,300	864,000	233,077,129
合 計	219,242,829	14,698,300	864,000	233,077,129

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
特定資産				
退職給付引当預金	142,295,000	0	0	142,295,000
運営準備引当預金	72,500,000	0	72,500,000	0
周年事業引当預金	11,000,000	0	11,000,000	0
減価償却引当預金	7,282,129	0	7,282,129	0
小 計	233,077,129	0	90,782,129	142,295,000
合 計	233,077,129	0	90,782,129	142,295,000

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
備品什器			
備品什器	14,133,820	7,282,129	6,851,691
合 計	14,133,820	7,282,129	6,851,691

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
モルガン・S 株価指数連動債	50,000,000	50,000,000	0
福岡県H25年度第8回公募公債	10,000,000	9,996,740	△ 3,260
第22回国際協力機構債券	10,000,000	10,016,000	16,000
合 計	70,000,000	70,012,740	12,740

## 5. 収 支 計 算 書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
<b>I. 事業活動収支の部</b>				
<b>1. 事業活動収入</b>				
特定資産運用収入				
特定資産利息収入	300,000	333,395	△ 33,395	
入会金収入				
入会金収入	1,250,000	1,450,000	△ 200,000	入会日標25社、実績29社
会費収入				
会費収入	295,445,000	295,012,500	432,500	
雑収入				
受取利息収入	10,000	137	9,863	
その他収入	1,350,000	1,443,900	△ 93,900	
事業活動収入計(A)	298,355,000	298,239,932	115,068	
<b>2. 事業活動支出</b>				
事業費支出				
給料手当支出	97,350,000	95,292,249	2,057,751	職員1名採用計画未実施による減
総会役員会費支出	6,400,000	6,294,682	105,318	
会員懇談会費支出	5,670,000	4,560,063	1,109,937	
委員会費支出	43,200,000	40,873,148	2,326,852	補助金等の外部経費の活用 セミナーの開催効率化による減
調査費支出	4,390,000	5,761,881	△ 1,371,881	欧州調査団派遣(観光・農業)
刊行費支出	11,500,000	11,319,798	180,202	
旅費交通費支出	12,000,000	9,464,901	2,535,099	出張費等の経費節減
通信費支出	2,550,000	2,261,045	288,955	
図書資料費支出	500,000	484,261	15,739	
加盟団体費支出	2,100,000	2,082,600	17,400	
特別事業費支出	600,000	0	600,000	
研修費支出	800,000	546,734	253,266	
交際費支出	400,000	567,796	△ 167,796	
印刷費支出	4,500,000	4,100,085	399,915	
消耗品費支出	1,000,000	216,865	783,135	
諸税支出	300,000	215,255	84,745	
雑支出	300,000	7,760	292,240	
事業費支出計(B)	193,560,000	184,049,123	9,510,877	
管理費支出				
役員報酬支出	22,015,000	22,015,000	0	
退職給付費支出	0	864,000	△ 864,000	事務局役員1名退職
福利厚生費支出	23,900,000	22,843,186	1,056,814	産業医制度見直し他
家賃支出	35,500,000	35,097,604	402,396	
備品費支出	7,100,000	9,811,487	△ 2,711,487	サーバセキュリティ対策等実施
修繕費支出	1,300,000	1,019,938	280,062	
管理費支出計(C)	89,815,000	91,651,215	△ 1,836,215	
事業活動支出計(D)=(B)+(C)	283,375,000	275,700,338	7,674,662	
事業活動収支差額(E)=(A)-(D)	14,980,000	22,539,594	△ 7,559,594	



(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入				
退職給付費引当預金取崩収入	0	864,000	△ 864,000	事務局役員1名の退職給付金
投資活動収入計(F)	0	864,000	△ 864,000	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当預金取得支出	11,000,000	11,937,000	△ 937,000	退職給与費引当預金へ繰入
周年事業引当預金取得支出	2,000,000	2,000,000	0	
減価償却引当預金取得支出	1,120,000	761,300	358,700	
投資活動支出計(G)	14,120,000	14,698,300	△ 578,300	
投資活動収支差額(H) = (F)-(G)	△ 14,120,000	△ 13,834,300	△ 285,700	
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計(I)	0	0	0	
2. 財務活動支出				
借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計(J)	0	0	0	
財務活動収支差額(K) = (I)-(J)	0	0	0	
IV. 予備費支出				
予備費支出(L)	0	0	0	
当期収支差額(M) = (E)+(H)+(K)-(L)	860,000	8,705,294	△ 7,845,294	
前期繰越収支差額(N)	81,981,636	81,981,636	0	
次期繰越収支差額(O) = (M)+(N)	82,841,636	90,686,930	△ 7,845,294	

- (注) 1. 収支計算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申し合わせ)に示された3区分の様式により作成している。
2. 借入金限度額(該当なし)
3. 債務負担額(該当なし)

### 収支計算書に対する注記

#### 1. 重要な会計方針

資金の範囲について・・・現金預金、仮払金、立替金、未収金、未払金、預り金、前受金を含める。

#### 2. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	83,744,518	93,315,098
立替金	1,048,490	894,271
未収金	70,481	966,617
合 計	84,863,489	95,175,986
未払金	492,845	3,087,916
預り金	2,239,008	1,401,140
前受金	150,000	0
合 計	2,881,853	4,489,056
次期繰越収支差額	81,981,636	90,686,930

# 監 査 報 告 書

私どもは、一般社団法人九州経済連合会の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度における財産の状況および理事の業務執行の状況を監査しましたので、これについて次のとおり報告いたします。

財産の状況については、平成29年度の財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録）、ならびに収支計算書等を慎重に検討し、また、理事の業務執行の状況について、理事会等に出席し、必要に応じ報告および説明を徴することにより、監査を行いました。


その結果、

- (1) 財産の状況に関し、平成29年度の財務諸表は、すべての重要な点において適正に表示されているものと認めます。
- (2) 理事の業務執行に関し、不正の行為、または法令もしくは定款に違反する事実は認められません。

平成30年 4月 23 日

一般社団法人 九州経済連合会

監 事

田中 俊次 

監 事

高木 一祐 